

# 集落支援だより No.2

平成30年7月30日発行

編集・発行：地域おこし協力隊 集落支援担当 小林（企画情報課）

TEL：49-2001（奥川支所）

こんにちは！地域おこし協力隊の小林拓也です。

第2号となる今回の集落支援だよりでは、4月28日に開催されたかたくり群生地の鑑賞会と、4月28・29日に行った学生向けの人足ツアー、6月3日に行われた奥川七観音ウォークの模様についてお伝えします！



## 小屋集落のかたくり群生地

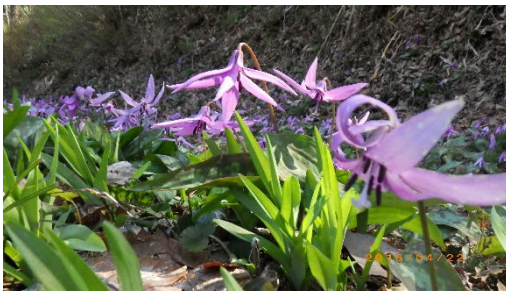
今年で6度目の開催となるかたくり群生地の鑑賞会は奥川の小屋集落で行われました。町内外からおおよそ80人の来場者が訪れ、かたくりの咲く様子を楽しみました。

イベントとして立ち上げた当初は、集落支援員が群生地整備のための補助金の申請や看板の作成などをお手伝いしていました。現在はこの群生地の整備やイベントの準備、当日の案内など、ほとんどを集落の皆さんが行っています。

この鑑賞会は毎年4月の第3土曜日に開かれています。4月に入ると町内にポスターが掲示されますのでご興味のある方はぜひお越しください！



かたくり鑑賞会のポスター



群生地の様子



集落で作成した案内板

## 集落機能維持のための仕組みづくり

町外の人に人足を手伝ってもらうための試験的な取り組みの第2弾として、4月28・29日の2日間で人足を組み込んだ農村体験ツアーを実施しました。

今回は福島大学の岩崎ゼミから、2・3・4年生の計10名の学生が参加してくれました。



作業前の集合写真

（裏面へ続く）

1日目はかたくり群生地の見学と奥川の案内、2日目は中町集落班と梨平集落班に分かれてそれぞれの人足作業に参加しました。

人足は、それぞれの集落で水路にたまった落ち葉と土砂上げの作業を行いました。学生たちは慣れない作業に苦戦しながらも、普段の生活では味わえない自然の中での体験と、住民の皆さんとの交流を楽しみながら作業を行いました。作業後には各集落の集会所で行われた慰労会にも参加させていただき、自己紹介などを交えながら交流を深めました。

住民の皆さんからは、「人数が増えるだけで作業が楽になる。」「若者が入ってくると活気が出ていい。」という感想をいただきました。

現在高齢化率がおおよそ 60%を超える集落で、人足に学生を受け入れてみたいという集落を募集しています。お問い合わせは役場奥川支所までお電話ください。



作業中の様子



作業後の慰労会の様子

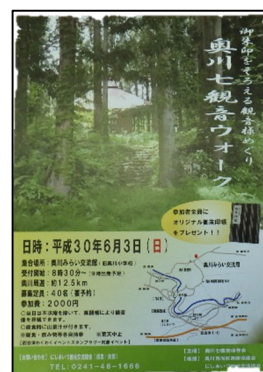
## 奥川七観音ウォーク

6月3日に、今年で第3回目となる奥川七観音ウォークが開催されました。

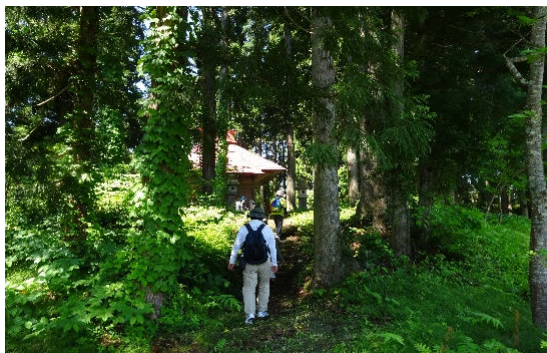
このウォーキングは奥川みらい交流館を出発し、奥川にある御詠歌が残っている7つの観音堂をめぐるものです。今年も県内外から約30名が参加し、案内人の解説を聞きながらおおよそ12.5kmの道のりを歩き奥川の散策を楽しみました。

このイベント限定でオリジナルの御朱印帳をお配りしており、ご好評をいただいています。

七観音ウォークは毎年6月の第1日曜日に開催されます。歴史や文化にご興味のある方はぜひご参加ください！



七観音ウォークポスター



奥川地区にある7つの観音堂をめぐる。



奥川の7人の書家による手書きの御朱印が配られます。